



伊東ひであきの提唱で 地域猫活動の実施へ

令和7年度より日野市にて

地域猫活動とは野良猫に去勢避妊手術を施し、地域で猫を正しく管理して猫を見守る活動です。「地域猫活動」が、ただの「エサやり」になってしまうと、地域社会に新たな問題を起こしてしまうことになりかねません。野良猫にエサをあげることが悪いことではありません、またエサをあげないことが解決になるわけでもありません。

野良猫は正しく管理していく事が重要です。日野市では野良猫の数は減少しています。それに伴い猫による被害も減少します。野良猫による被害(排せつ物など)をなくすためにも地域猫活動は効果があります。

地域猫活動について



Step1

地域に知ってもらう

地域猫活動は野良猫を将来的にゼロにするための活動です。

そのためには、避妊去勢手術(※TNR)をおこないます。なお、手術済みの猫を識別するため、片耳をV字にカットします。地域にいるすべての野良猫に避妊去勢手術をおこない、一代限りの生を全うさせることにより、その地域の野良猫が減っていくことになります。

また、避妊去勢手術をすることで、性格がおとなしくなり発情期の鳴き声や強烈な尿の臭気も薄くなっていきます。

※TNR=Trap(捕獲して)、Neuter(避妊去勢手術をし)、Return(元の場所に返す)



Step2

野良猫が増えない対策

野良猫の問題は、地域の環境問題であるため、猫を好きな方と嫌いな方で対立していても問題解決に繋がりません。

また、ボランティアの方々だけに任せていても同様です。

地域の環境をよくするためには、多くの地域関係者で話し合い、猫の問題や数が自然に減少するように、各地域に合ったルールや役割を決めていくことが大切です。

※Management(地域で管理)
猫の苦情の多くは、ふん尿によるものです。柔らかい土や砂を入れたプランターなど、猫用トイレを設置して、ふん尿被害を減らしましょう。トイレは、エサ場から少し離れた雨の当たらない場所、他人に迷惑にならない目立たない場所が最適です。



Step3

被害を減らす工夫

正しいエサやりのルールを守ります。置きエサは厳禁です。置きエサをすると地域以外の猫や他の動物も寄ってきます。また、害虫の発生や悪臭の原因となり、不衛生な環境となってしまいます。

そのため、

- ・エサ場所を決め
- ・毎日、同じ時間に
- ・余らないよう適切な量を与えて、直ぐに片付け
- ・エサ場所の周辺を清掃し清潔に保ち
- ・水は1日1回交換、常時置いてあげましょう
- ・餌やトイレは自宅敷地内に設置すること
- ・道路や公園などの公共の場で許可なく設置はできません

一体となって
猫を守る
仕組みをつくろう

地域猫サポーターとは

地域猫活動を円滑に進めるため、市から公認されたサポーターです。地域猫サポーターになるには、市が開催する講習を受け、その後、活動できる周辺の野良猫の捕獲指導・補助等をおこなっていただきます。

地域

地域猫
サポーター

日野市

地域住民

猫活動に対する理解・協力

地域住民ボランティア

市が公認したボランティア
(捕獲・避妊去勢・適正なエサやり・トイレ・費用などの管理を中心となっておこなう)

コーディネーター

周知・普及啓発・住民活動支援、手術費用の一部助成等

地域猫サポーター

地域猫活動のアドバイザー・捕獲指導・補助等



伊東ひであき プロフィール

昭和35年8月20日生まれ日野市多摩平三丁目在住・静岡県磐田市出身
《家族》妻(六小・四中卒)うさぎのびょういんjoy joy院長・子二人の4人家族
《経歴》麻布大学獣医学部卒・農業会社の研究所(毒性試験研究員)・医療器械販売営業・元議員秘書・
多摩平三丁目南自治会会長・日野市立第六小学校地域防災会・日野市立第四中学校青少年育成会
日野市消防団第三分団第三部班長、その他各種団体でボランティア活動をしております。

発行者:伊東ひであき事務所
発行元:日野市多摩平3-16-28
TEL:042-843-3688
FAX:042-843-3691
E-mail:pokohideito3471@gmail.com

令和7年第1回定例会 一般質問

1 地域猫活動における手順や概略、経費などについて質問しました。

地域猫活動における手順や概略、経費などについて質問しました。

また地域猫サポーター、地域住民ボランティアとは何か。

地域(地域住民ボランティア)と日野市、地域猫サポーターなどの役割や関係性など多方面から質問しました。



2 小中学校における教職員と保護者について ～PTAの現状と学校の課題～

日野市では令和6年11月に各学校にPTAに関するアンケートを実施。

アンケート結果では...

市内小中学校でPTAを解散した小学校は2校、中学校は1校。PTAを解散した学校ではPTAに代わる任意の団体が発足し、これまでとは異なるアプローチで学校活動を支えている。

●直近3年程度のPTA活動の傾向では25校中、特に変わらない4校、どちらかと言えば縮小8校、縮小しているが13校となってPTA活動は縮小している。背景は役員や特定の方が活動を多く担って、組織的な活動が難しくなっている。

そのため負担と受け止められる役員や会費を廃止して、必要に応じてボランティアを募集したり工夫を凝らしている。

その他教職員の精神的苦痛(保護者からの過剰な要求など)はスクールロイヤー制度を導入して相談体制の強化を実施。

朝の「小1の壁」(子どもが登校しても門や校舎の鍵がしまっている)問題。学校徴収金の教職員の立替問題。など多方面にわたり質問致しました。

令和7年第2回定例会 一般質問

1 日野市動物の愛護及び管理に関する条例制定を！

過去の私の一般質問での提案や要望により様々な事業が実施され、各事業には要領やガイドラインなど一定の基準を設けています。

- 日野市さくらねこ無料不妊手術事業(行政枠)利用取扱要領
- 日野市飼い主のいない猫対策用捕獲機貸出要領
- 日野市地域猫活動支援ボランティア団体登録手続取扱要領
- 地域猫活動ガイドブック～人と猫が共に暮らせる地域社会を目指して～
東京都の「地域における動物支援体制整備事業」も私の提案で採用になりましたが、3年間10/10東京都補助事業も昨年終了し、新たに東京都1/2事業としてスタートしましたが、10,000,000円/年が1,760,000円/年と激減しました。
- ～災害時ペット対策の心得と準備について～

条例がない
= 虫食い状態



要領やガイドラインを作っても基本となる条例がないため一貫性がなく、虫食い状態。
条例制定をして市としての心構えや方針を明確にすべき。

2 アニメの聖地ひのを目指せ ～多摩トキワ荘を救え～

- 訪れてみたいアニメツーリズム協会の日本のアニメ聖地88に2017年8月に「薄桜鬼 真改」が選ばれ、2025年には「しかのこのこのこしたんたん」が加わり2作品が選ばれました。 昨年は、日野市出身の安田剛士先生の「青のミブロ」が放映されました。このようなアニメや漫画のさかんな市は全国的にも珍しい。この資源を生かし観光や聖地としての取組ができないか。
- 若手クリエイターを支援するための漫画家育成支援の特定非営利法人多摩トキワ荘が来年2月賃貸借契約終了で継続が困難となっています。市として継続の支援ができないか。

注:多摩トキワ荘とは、マンガ家の巨匠が若手時代を過ごした、伝説のアパート「トキワ荘」を現代版に再現したプロジェクト。既に1/3がプロとして活躍中。退室後、日野市の環境が好きで日野市内で活躍している漫画家も多にいる。

3 動物愛護のための資金確保を！

私が、以前からクラウドファンディングや特定ふるさと納税で動物愛護基金をつくり計画的に運用することを私は訴えてきました。今からでもぜひ実施していただきたい。